



寒川町総合計画2040第2次実施計画の 施策・事務事業について

令和6年11月11日



目次

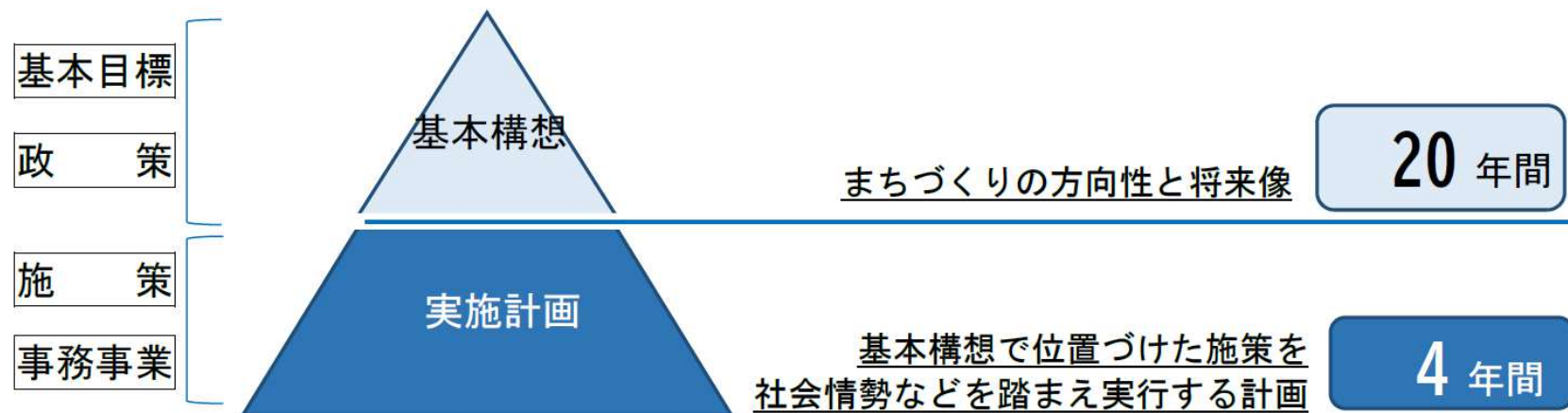
- 01_総合計画2040 第2次実施計画の体系・計画構成
- 02_総合計画2040 まちの将来像
- 03_総合計画2040 基本構想の体系図
- 04_寒川町総合計画2040第1次実施計画の振り返り
- 05_総合計画2040第2次実施計画の策定方針
- 06_総合計画2040第2次実施計画 施策・事務事業の作業プロセス
- 07_総合計画2040第2次実施計画作成上の留意点
- 08_総合計画2040第2次実施計画 施策・事務事業の反映
- 09_総合計画2040第2次実施計画の策定経過
- 10_今後のスケジュール

01_総合計画2040 第2次実施計画の体系・計画構成

01_総合計画2040 第2次実施計画の体系・計画構成

- ・ 総合計画2040の計画体系は、「基本構想」「実施計画」の2層で構成します。
- ・ 基本構想は、まちの将来像やまちづくりの目標を定めるもので、計画期間は20年とします。
- ・ 実施計画は、基本構想の実現のために取り組む施策を位置づけるもので、計画期間は4年とします。

■総合計画 2040 体系図（計画構成・計画期間）

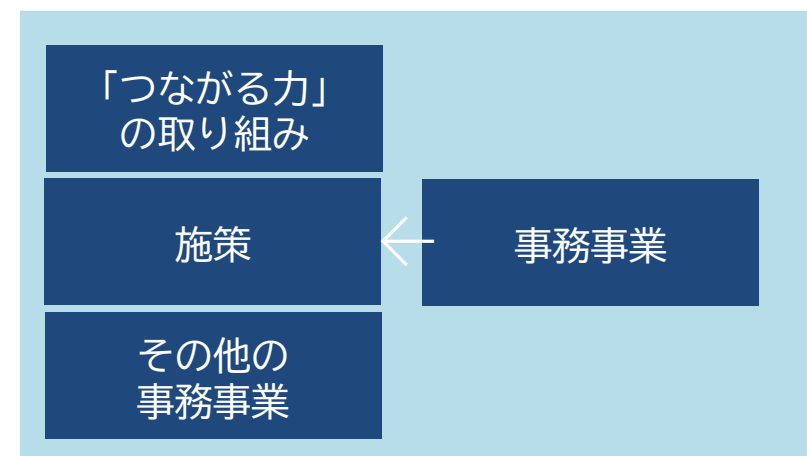


01_総合計画2040 第2次実施計画の体系・計画構成

基本構想



実施計画（基本構想の実現のための重要な要因）



まちの将来像、基本目標、政策を踏まえ、施策・目標と指標の設定、さらには施策目標の実施手段となる事務事業の目標・指標の設定を行います。

02_総合計画2040 まちの将来像

まちの将来像 「つながる力で 新化するまち」

寒川町は、いにしえから「穏やかさ」「優しさ」「あたたかさ」といった町の特長や町民性を受け継いできました。これらの町の特長や町民性を後世に伝えながら、将来にわたって町民のこころ豊かな暮らしを実現するために、つながることで生まれる力を最大限に発揮し、新たな価値を創造することで、まちの新化へとつなげていきます。つながる力によって、今後見込まれる様々な社会経済環境の変化にあっても、それぞれの時代に合わせて最適化を図ることで、こころ豊かな暮らしを実現するために、次のとおりまちの将来像を掲げています。

03_総合計画2040 基本構想の体系図

03_総合計画2040 基本構想の体系図

まちの将来像「つながる力で 新化するまち」の実現に向けて、「寒川町総合計画2040」の体系のとおり、基本構想において6つの基本目標と12の政策を位置づけています。



基本目標や政策を実現するために、実施計画において、目指す姿や具体的な取り組みなどを施策及び事務事業として位置づけています。



04_寒川町総合計画2040第1次実施計画の振り返り

04_寒川町総合計画2040第1次実施計画の振り返り

令和6年度 町民満足度アンケート調査結果

【有効回答数】255人 【調査期間】R6.4.18～5.15 【調査方法】e-kanagawa電子申請



04_寒川町総合計画2040第1次実施計画の振り返り

■ ポートフォリオ分析結果(町民満足度アンケート R6)

【町民全般 施策タイプ分類】

<p>高い</p> <p>↑</p> <p>【今後の重要度】</p> <p>↓</p> <p>低い</p>	<p><施策タイプⅠ> 今後の重要度が高いが、現状の評価が低いため、<u>力を入れて取り組むべき施策</u></p> <p>(20) 防災対策の充実①家庭 (R4.5.施策タイプⅡ) (21) 防災対策の充実②行政 (23) 地域医療の充実 (24) 交通安全・防犯対策の充実① (25) 交通安全・防犯対策の充実② (26) 道路の整備 (27) 公共交通網の整備 (35) 勤労者対策の充実</p>	<p><施策タイプⅡ> 今後の重要度が高いが、現状の評価も高いため、<u>現状維持を図るべき施策</u></p> <p>(1) 子育て支援の充実 (2) 子どもの育ち・発達支援 (3) 幼児教育の推進・家庭教育の支援 (R4.5.施策タイプⅠ) (4) 学校教育の推進 (9) 生涯を通じた健康づくりの充実 (10) 高齢者の健康づくりの充実 (11) 地域福祉の充実 (12) 障がい福祉の充実 (R4.5.施策タイプⅠ) (13) 公園・緑地等の充実 (15) 住環境の向上 (16) 地域美化の推進 (18) 資源循環の推進 (19) 公害の防止 (22) 消防体制の充実 (28) 下水道の整備</p>
	<p><施策タイプⅢ> 現状の評価が低い、今後の重要度も低い、<u>状況に応じて取り組むべき施策</u></p> <p>(29) 市街地整備の推進 (30) 土地利用の適正化 (31) 商業の振興 (32) 工業の振興 (34) 観光の振興 (36) 町民との協働によるまちづくりの推進 (37) 町民相談の推進 (38) 多様な主体によるまちづくり (39) 広域行政によるまちづくり (40) 自律的な行財政運営 (41) まちづくりを支える組織と基盤づくり</p>	<p><施策タイプⅣ> 現状の評価が高いが、今後の重要度は低い、<u>力を入れる必要が低い施策</u></p> <p>(5) スポーツ・レクリエーション活動の推進 (6) 生涯学習・地域文化の推進 (7) 社会教育の振興 (8) 郷土教育の推進 (14) 自然環境保全の推進 (17) 動物共生の推進 (33) 農業の振興</p>

低い ← 【現状の評価】 → 高い

04_寒川町総合計画2040第1次実施計画の振り返り

令和6年度 町民満足度アンケート調査結果

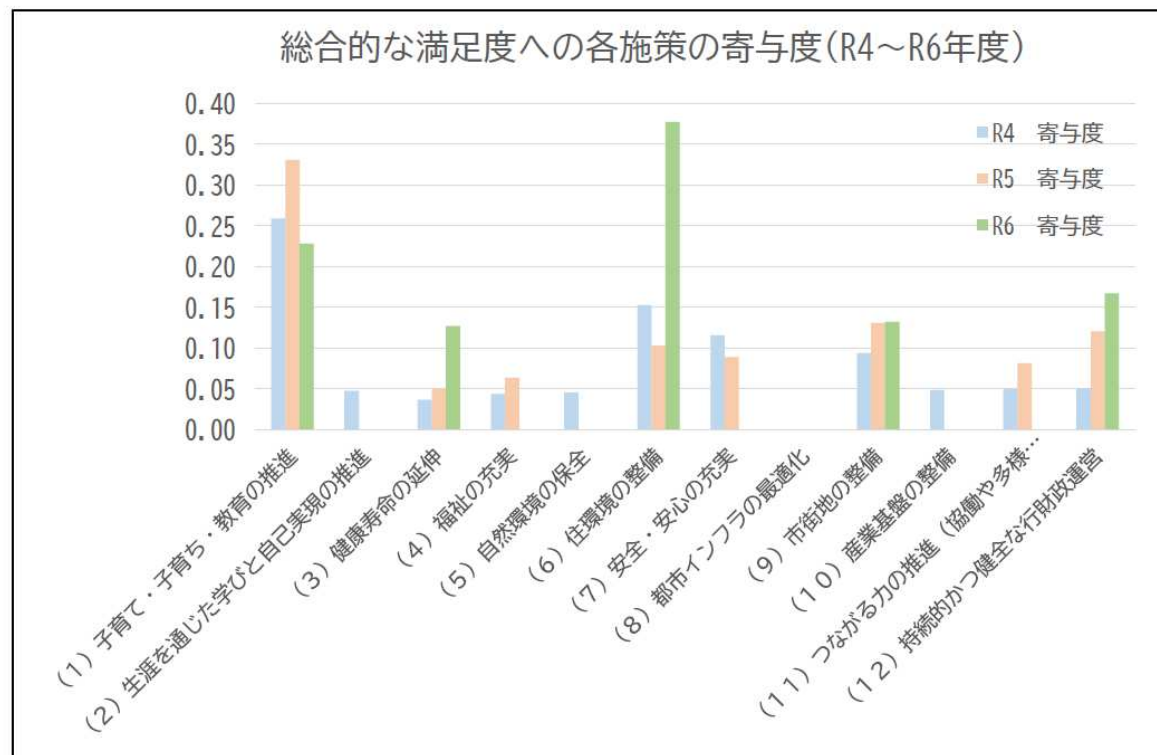
総合計画 12の政策と全体の満足度に関する重回帰分析

- 子育て・子育て・教育の推進
- 持続的かつ健全な行財政運営

以上の政策が、令和4年度から令和6年度までで、
総合的な町民満足度へ寄与する政策として選択
されている。



町民の総合的な満足度を向上させるために、
『子育て政策』及び『持続可能な行財政運営』の満足度を
向上させることが効果的である。



04_寒川町総合計画2040第1次実施計画の振り返り

■ 第1次実施計画における目標指標の達成見込みが低い主な施策

施策	現状と課題	今後の方向性
1-1-1 子育て支援の充実	多岐に渡り子育て支援を充実させてきたが、出生率は向上していないなどの課題がある。	多様化・複雑化する子育てニーズを的確に把握し、 先を見据えた事業展開・対策を推進していくことが必要 である。
1-2-2 生涯学習・地域文化の推進	生涯学習施策の基本的な考え方や方向性を示した学びプランの取り組み推進にあたっては、生涯学習(学び推進課)分野と社会教育(教育政策課)分野の連動した事業展開・点検・改善が必要である。	生涯学習とは、家庭教育や学校教育, 社会教育などを指すが、生涯学習(学び推進課)と学校教育(学校教育課)、社会教育(教育政策課)が分かれており、 目標達成に向けた一体的な推進が必要 である。
2-1-2 高齢者の健康づくりの充実	定年延長やコロナ禍を経て、様々な就労機会が確保されたため、生活スタイルの変化に合わせ施策展開が必要である。	高齢者の外出する機会を提供する事業展開を行うとともに、 一人ひとりが介護予防に取り組み、地域とつながり、外出や交流の機会を創出していく。
4-1-1 防災対策の充実	地域間で防災意識に差があるため、自主防災組織による自主的な訓練や防災意識向上に向けた取り組みが必要である。	昨今の未曾有の災害に対し、 地域や個人個人で備える準備をして災害に強いまちづくりを整備する必要がある。
6-1-1 町民との協働によるまちづくりの推進	自治会加入率の減少や高齢化による担い手不足など、地域コミュニティ活動が希薄化している。	複雑化・多様化する地域課題の解決には向けて、 自治会や各団体とのつながる機会を創出する事業を展開していく必要がある。

04_寒川町総合計画2040第1次実施計画の振り返り

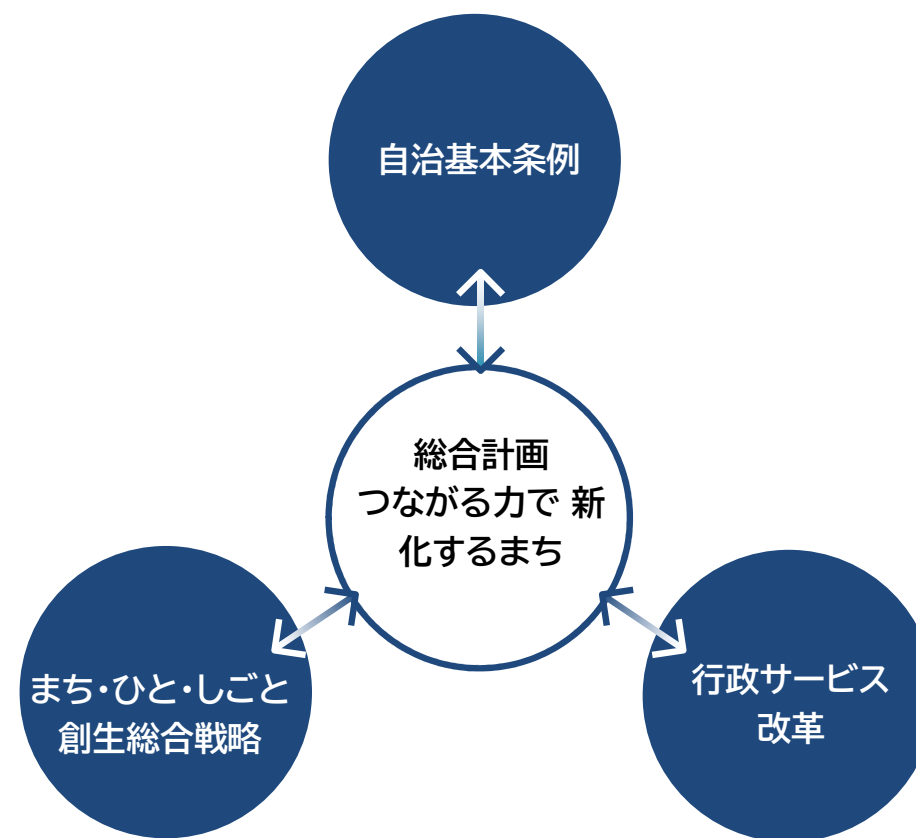
■ 第1次実施計画における目標指標の達成見込みが低い主な事務事業

事務事業	現状と課題	今後の方向性
1-2-2-03 地域間交流促進事業	【目標指標】 地域間交流事業参加者数 ・ 文化連盟の加入団体や会員数の減少、高齢化に伴う人材不足などに課題がある。	・ 町民ニーズを的確に捉え、貢献度や満足度に寄与する施策展開を模索・検討していく必要がある。
2-1-2-02 高齢者社会活動推進事業	【目標指標】 シルバー人材センター会員数・活動実人数 定年延長や様々な就労方法の増加により、会員数が減少し、高齢の会員が仕事できる業務が限られている状況にある。	・ 外出機会を創出し、地域活動への社会参加を促進する事業を展開し、自分のことは自分でできる自主的な健康づくりを支援する教室事業等を展開していく。
3-2-1-02 空き家対策事業	【目標指標】 空き家所有者から専門家への相談仲介件数 ・ 空き家の啓発活動を行っているが、空き家所有者から専門家への仲介を求められていない。	・ 空き家所有者へ早期にアプローチし、問題空き家化を抑制する取り組みを推進していく必要がある。
6-2-2-01 職員力向上事業	【目標指標】 職員力指数(モチベーション)が向上した職員割合 ・ 目標指標の職員力向上(モチベーション)につながる取り組み・対策が急務である。	・ 仕事のやりがいを感じられる職場風土の醸成を図ること。 ・ 人材育成方針を策定し、目指すべき職員像のもと、職員の意識改革を進める必要がある。

05_総合計画2040第2次実施計画の策定方針

05_総合計画2040第2次実施計画の策定方針

- ① 「つながる力で 新化するまち」の実現
- ② マーケティング分析に基づく指標設定
- ③ 財源の裏付けのある計画策定
- ④ 効率的・効果的な進行管理
- ⑤ 地方創生の取り組みを推進
- ⑥ 施策マネジメント体制の強化
- ⑦ 施策・事務事業の重点化



05_総合計画2040第2次実施計画の策定方針

1 「つながる力で 新化するまち」の実現

第2次実施計画においては、引き続きつながる機会を創出するとともに、つながる力による社会課題解決に向けた町からの積極的なアプローチを進めます。

なお、町からのアプローチにあたっては、まずは町民と町で「つながる力で 新化するまち」のイメージや現在の地域課題の共有を進め、それぞれの得意分野を生かしながら新化するまちを実現します。

2 マーケティング分析に基づき施策・事務事業を構築し、選択と集中を図ります

マーケティング分析により、町民ニーズや町を取り巻く課題などの仮説を設定し、基本目標及び政策の実現に向け貢献度の高いものを「施策目標」として重点的に選定します。

事務事業の検討においては、選定された施策目標の達成に向け、貢献度が高い事務事業目標を絞り込み、それを効果的、効率的に達成できる事業に優先的に予算配分します。

05_総合計画2040第2次実施計画の策定方針

3 財源の裏付けのある計画を策定します

施策目標や事務事業目標を達成できるように財政計画を策定し、財源の裏付けのある実施計画を策定します。
財政計画策定にあたっては、人口減少、少子高齢化や公共施設の老朽化などにより、これまで以上に町の財政は厳しい状況になることが予想されます。
創意工夫により財源を確保し、最小の経費で最大の効果が得られるよう事務事業の見直しを行います。

4 適切な目標 / 目標指標を設定し、効果的効率的な進行管理を実施します

まちの将来像、基本目標、政策を達成することでこころ豊かな暮らしを実現するために適切な目標／目標指標を設定し、効果的効率的な進行管理を実施します。
進行管理においては、EBPMの観点から施策立案を進めます。また、目標指標の下方修正であっても、その理由を明確にするとともに対策を講じることを条件に見直しを可能とし、柔軟な進行管理を実施します。

05_総合計画2040第2次実施計画の策定方針

5 地方創生に係る取り組みを推進します

まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の位置付けに捉われず、長期にわたって持続可能な行政運営をするために、少子高齢化や人口減少へ対応する事業を総合戦略に位置付けます。

また、総合戦略に位置付ける事業については、トライ＆エラーをしながら進行管理し、時代に即した効果的な取組を実施できるように策定します。なお、引き続き総合戦略は実施計画に包含します。

6 施策責任者を明確にします

各部等によるマネジメント体制の強化を図るため、引き続き、原則1つの施策を1つの部等（施策責任者）が管理することとします。

一方で、近年は分野横断的な取組の重要性が高まっています。組織横断的な連携をしながら施策を推進します。

7 個別計画との整合を図ります

施策及び事務事業を重点化するため、引き続き各個別計画などにおいて実施計画に登載しない事業や経費の進捗管理をします。

各個別計画が総合計画のどこの施策や事務事業と関係しているのか明確にします。

05_総合計画2040第2次実施計画の策定方針

■ 施策の内容及び事務事業の登載について

次の3つの視点から施策を策定し、その手段としての事務事業を選定・登載するものとします。

- ①基本構想（基本目標・政策）の実現に向け、貢献度が高い事項
- ②町民満足度の向上に寄与するもの（魅力品質または一元品質）
- ③ポートフォリオ分析結果（町民アンケート）により、優先的に行うべき事項

■ ポートフォリオ分析結果(町民満足度アンケート R6)

【町民全般 施策タイプ分類】

<p>＜施策タイプⅠ＞ 今後の重要度が高いが、現状の評価が低いため、力を入れて取り組むべき施策</p> <p>(20) 防災対策の充実①家庭 (R4.5.施策タイプⅡ) (21) 防災対策の充実②行政 (23) 地域医療の充実 (24) 交通安全・防犯対策の充実① (25) 交通安全・防犯対策の充実② (26) 道路の整備 (27) 公共交通網の整備 (35) 勤労者対策の充実</p>	<p>＜施策タイプⅡ＞ 今後の重要度が高いが、現状の評価も高いため、現状維持を図るべき施策</p> <p>(1) 子育て支援の充実 (2) 子どもの育ち・発達支援 (3) 幼児教育の推進・家庭教育の支援 (R4.5.施策タイプⅠ) (4) 学校教育の推進 (9) 生涯を通じた健康づくりの充実 (10) 高齢者の健康づくりの充実 (11) 地域福祉の充実 (12) 障がい福祉の充実 (R4.5.施策タイプⅠ) (13) 公園・緑地等の充実 (15) 住環境の向上 (16) 地域美の推進 (18) 資源循環の推進 (19) 公害の防止 (22) 消防体制の充実 (28) 下水道の整備</p>
<p>＜施策タイプⅢ＞ 現状の評価が低い、今後の重要度も低い、状況に応じて取り組むべき施策</p> <p>(29) 市街地整備の推進 (30) 土地利用の適正化 (31) 商業の振興 (32) 工業の振興 (34) 観光の振興 (36) 町民との協働によるまちづくりの推進 (37) 町民相談の推進 (38) 多様な主体によるまちづくり (39) 広域行政によるまちづくり (40) 自律的な行政運営 (41) まちづくりを支える組織と基盤づくり</p>	<p>＜施策タイプⅣ＞ 現状の評価が高いが、今後の重要度は低い、力を入れる必要が低い施策</p> <p>(5) スポーツ・レクリエーション活動の推進 (6) 生涯学習・地域文化の推進 (7) 社会教育の振興 (8) 郷土教育の推進 (14) 自然環境保全の推進 (17) 動物共生の推進 (33) 農業の振興</p>

低い ← 【 現状の評価 】 → 高い

06_総合計画2040第2次実施計画 施策・事務事業の作業プロセス

■ 施策・事務事業目標の考え方

次の3つの視点から施策目標を作成することとします。

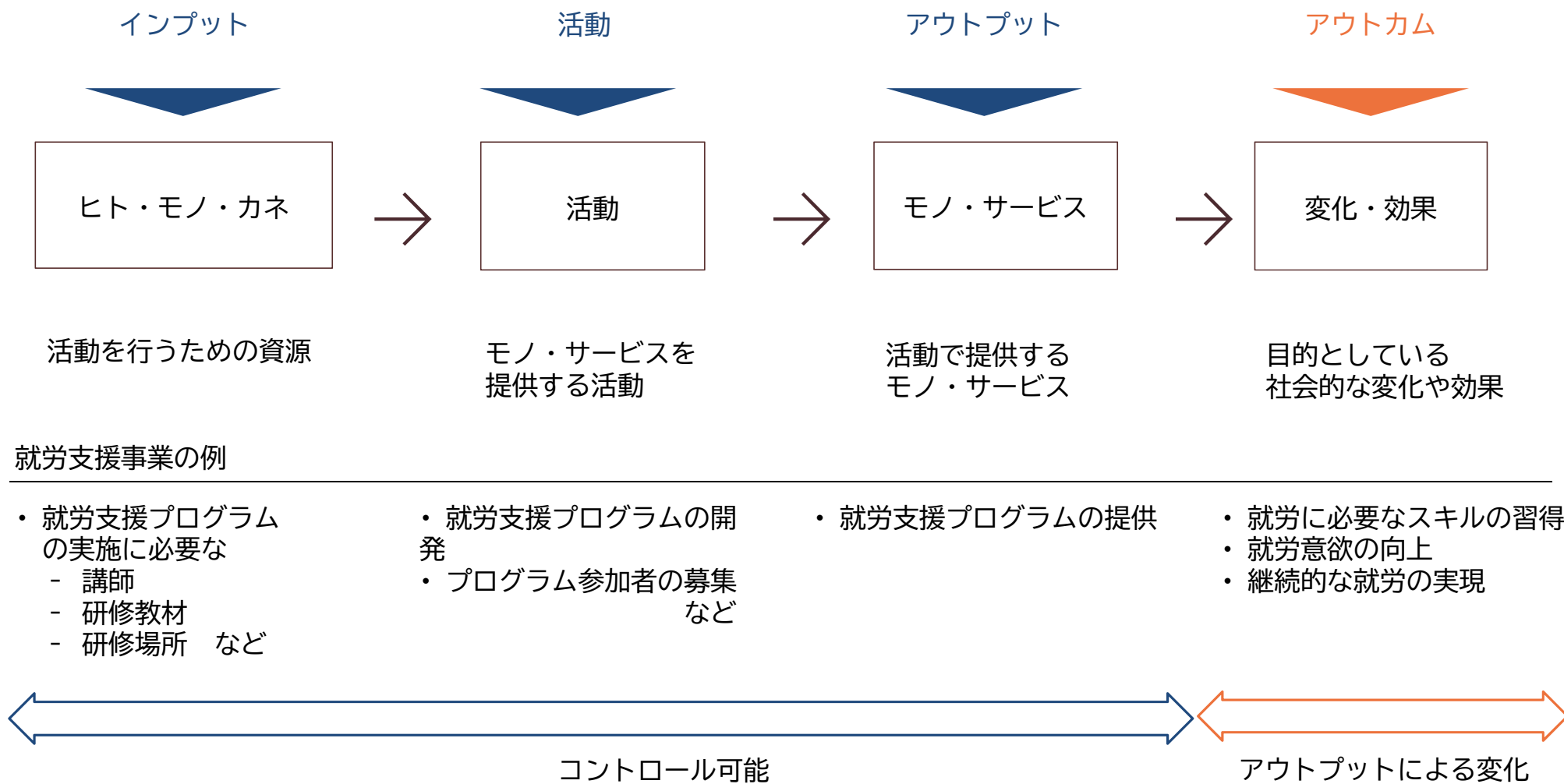
- ① 基本構想として議決した基本目標や政策の内容を踏まえ、この4年間で何を目指すか
(政策の記載内容を活用して施策目標をつくる)
- ② 町民が本質的に求めているものであるか(潜在的な欲求も含む)
- ③ 現在や今後、予想される課題を解決するものでそれは効果的か

策定プロセスでのEBPMの推進

寒川町総合計画2040第2次実施計画の「施策」・「事務事業」の目標設定では、すべての事業は、「その事業を実施することにより、まちの将来像の実現に結びつく」という戦略的かつ仮説的思考を組み立てるためのロジックモデルを作成することで、「将来目指すべき姿から逆算して現在、何をすべきか」という政策体系の目的（施策）と手段（事務事業）の階層構造を整理して、行動活動を可視化することに取り組みました。

※ロジックモデル：事業や組織が最終的に目指す変化・効果の実現に向けた道筋を体系的に図示化し、事業がどのような道筋で目的を達成しようとしているのか示しているもの

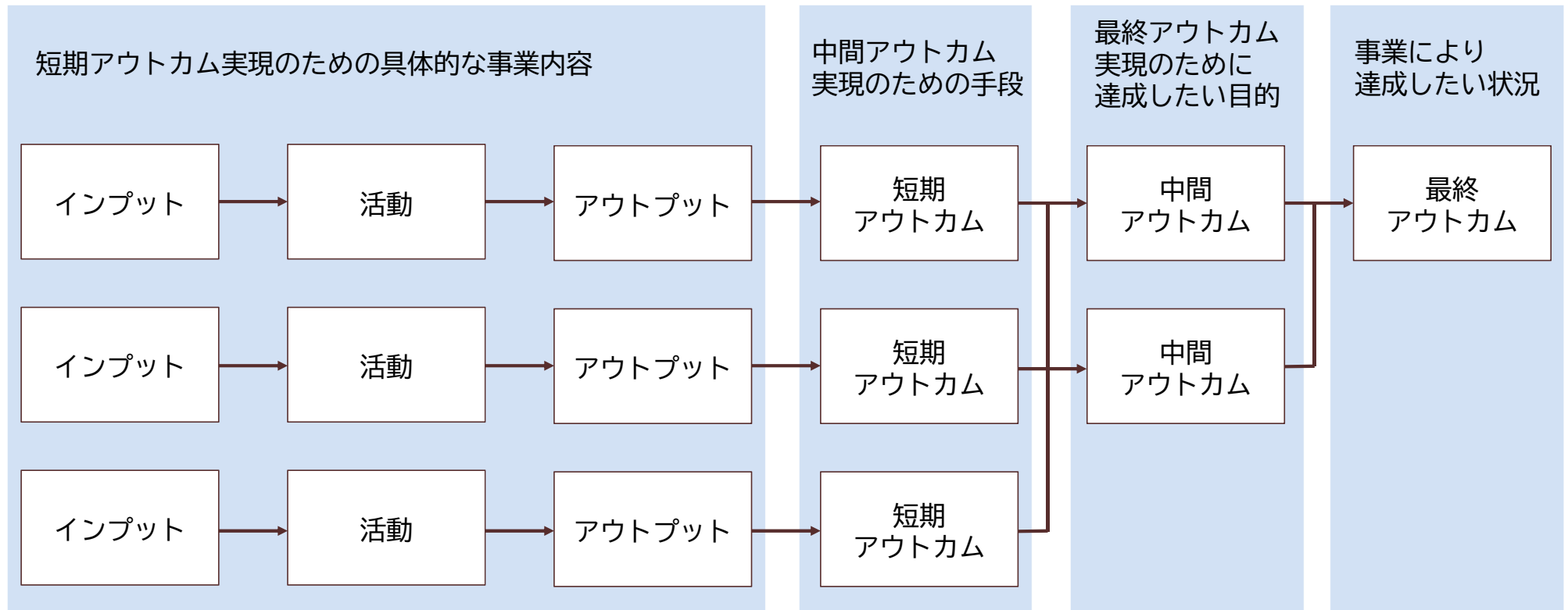
06_総合計画2040第2次実施計画 施策・事務事業の作業プロセス



06_総合計画2040第2次実施計画 施策・事務事業の作業プロセス

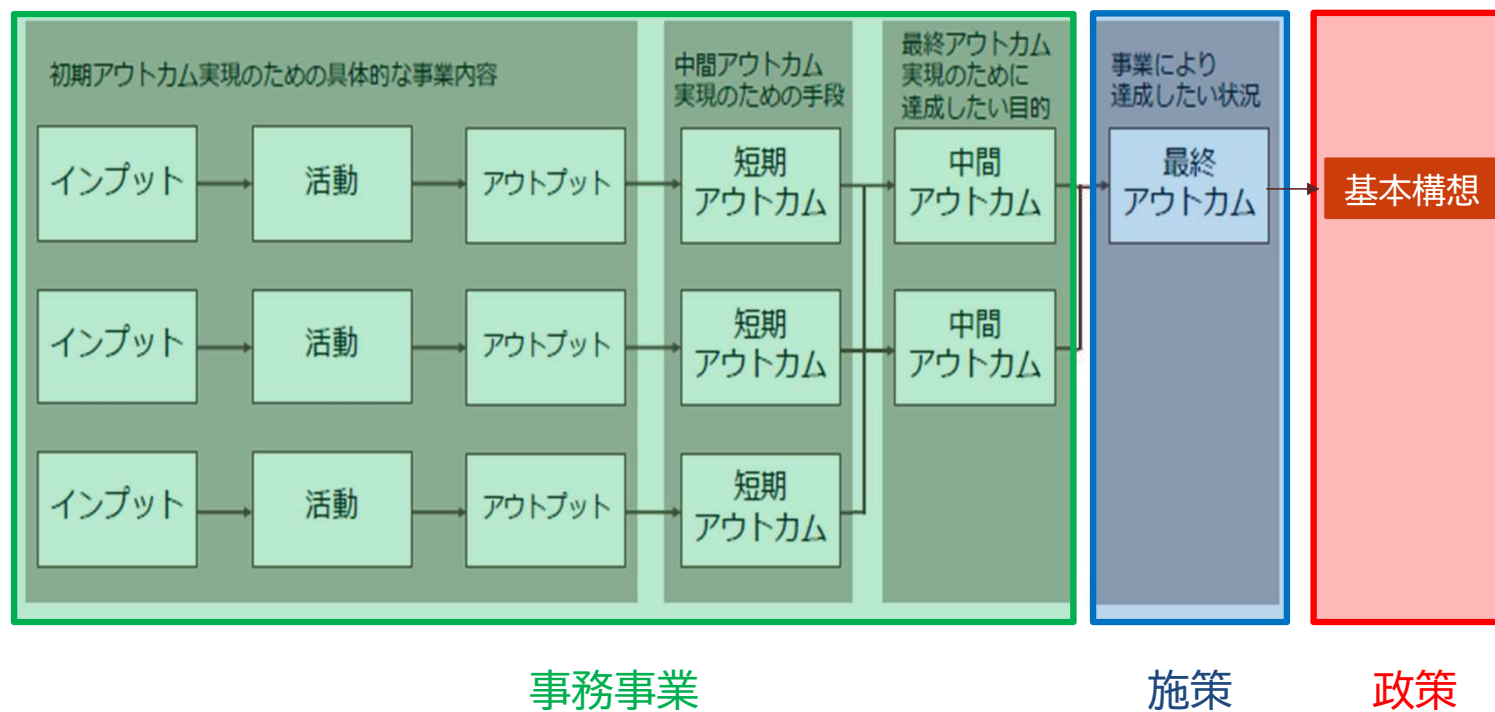
ロジックモデルとは

事業や組織が最終的に目指す変化・効果の実現に向けた道筋を体系的に図示化したもの。
事業が、どのような道筋で目的を達成しようとしているのかを示したもの。



06_総合計画2040第2次実施計画 施策・事務事業の作業プロセス

■ 寒川町総合計画2040第2次実施計画とロジックモデルとの相関図



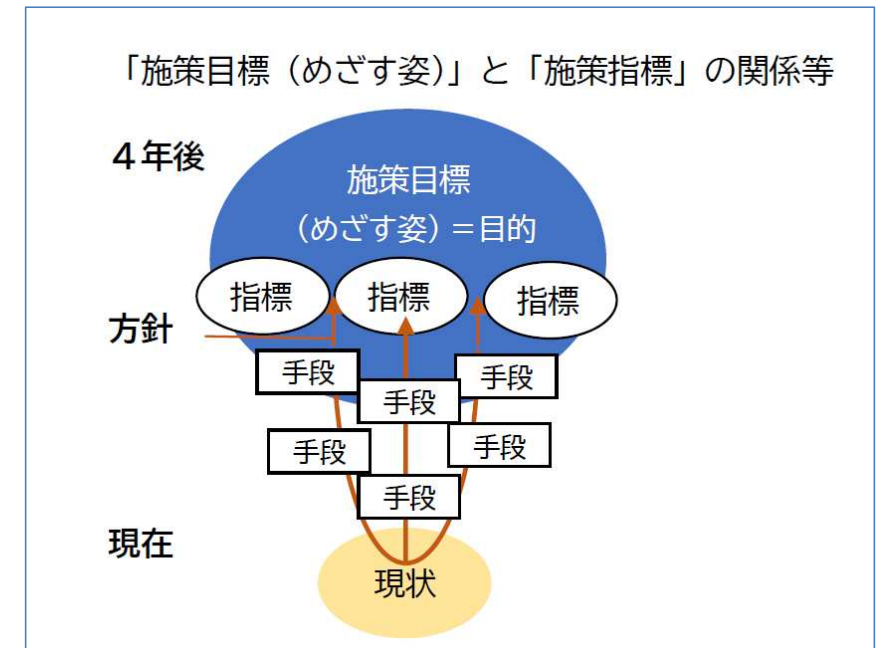
06_総合計画2040第2次実施計画 施策・事務事業の作業プロセス

■目標指標（KPI）として、登載すべき事項

- (1) 数値目標を掲げることで、課題解決や生産性の向上が見込める事項
- (2) 目標が達成できなかった場合に、次にどうすればよいか対策を検討できる事項
- (3) 事務事業の取り組みが、時限的取り組み事項

■目標指標（KPI）として、登載すべきではない事項

- (1) 当たり前の事項、数値化しても無駄になる事項
- (2) 結果が悪くても事務事業の取り組みを変えられない事項

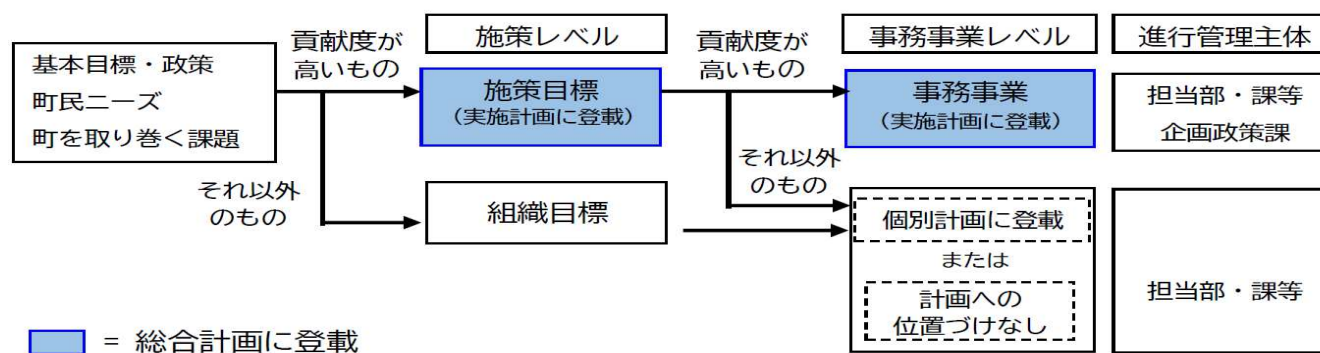


07_総合計画2040第2次実施計画作成上の留意点

07_総合計画2040第2次実施計画作成上の留意点

(1) 施策・事務事業の重点化

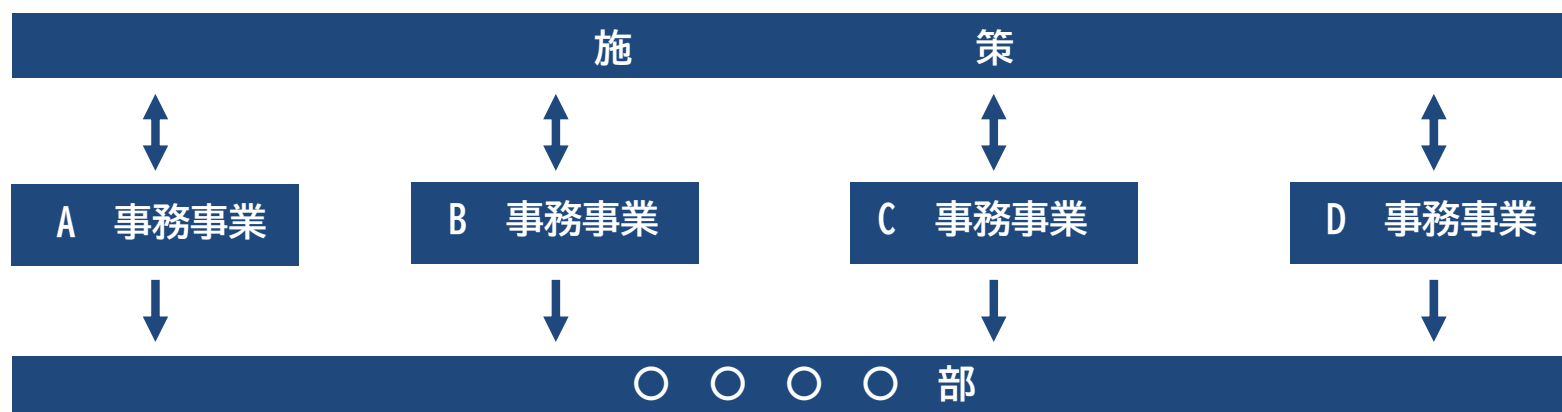
- 総合計画2040第2次実施計画では、第1次実施計画同様、まちの将来像である「つながる力で 新化するまち」の実現に向け、引き続き、「つながる」機会を創出し、「つながる」力による社会課題解決に向けた町から積極的なアプローチ（施策展開）を進めていきます。
- 全庁的にEBPMを推進し、EBPM研修で活用した様々なデータを活用・分析することにより、町民ニーズや町を取り巻く課題などの仮説を設定し、総合計画2040の基本構想で示す基本目標及び政策の実現に向け貢献度が高いものを施策目標として重点的に選定します。
- 重点項目を明確化し、貢献度の高い事業目標を絞り込むことで、メリハリのある計画とします。
- 実施計画に登載しない事務事業の管理は、各分野の個別計画に委ね、各部等の裁量により行うこととします。



07_総合計画2040第2次実施計画作成上の留意点

(2) 施策体系と組織体系の一致(マネジメント体制の強化)

- 総合計画2040第2次実施計画では、施策体系と組織体系のねじれを解消し、原則、一つの施策を一つの部等（施策責任者）が管理することとします。
- これにより、各施策に割り振られた配分調整額を各部等に割り振られた経費の配分調整額と一体的に運用し、各部等（施策責任者）によるマネジメント体制の強化を図ります。
- また、現行の総合計画では位置づけのなかった担当の業務についても、可能な限り役割を明確化したうえで、目標（施策目標または「組織目標」）を設定し、行政組織としての役割と業務目標の明確化を図ります。



07_総合計画2040第2次実施計画作成上の留意点

行政サービス・ 行政資源の最適化

行政コストの削減や限られた人員・財源の有効配分を進めるとともに、行政サービスや行政資源の最適化を図ること。

スマート自治体 への転換

限られた人員体制の中、自治体として本来担うべき機能を発揮できる自治体への転換を図るため、既存事業に「デジタルの要素」を加え、効率的な効果や付加価値を創出すること。

民間活力の活用

限られた財源や人員体制のなかで、多様化する町民ニーズに対応していくためには、これまで以上に民間の持つノウハウや知見を活用した事業展開を図る必要があること。

施策推進における 組織体系の整理

総合計画第2次実施計画の策定に向け、第1次実施計画の施策推進を踏まえ、施策体系の課題・変更すべき点を整理し、より効果的・効率的な施策・事務事業を実施していくこと。

08_総合計画2040第2次実施計画 施策・事務事業の反映

08_総合計画2040第2次実施計画 施策・事務事業の反映

寒川町総合計画2040第2次実施計画の施策・事務事業の目標・指標の設定

基本目標

まちづくりのための基盤づくり

6

政策

2

施策

1

自主的な行政運営

【町民ニーズ】

- これまでと同等、もしくはこれまで以上の行政サービスが望まれています。
- 信頼できる行政運営が求められています。
- 町の魅力発信（ブランディング）を重要と感じる人が多く、それが充分でないと感じる人が多いです。

【町を取り巻く環境（課題等）】

- 今後、少子高齢化が進行するとともに人口減少に降ることが見込まれます。
- 生産年齢人口の減少による税収の減少や、高齢化による扶助費の増が懸念されます。
- 若い世代の定住意欲を高くする必要があります。
- 行政サービスへの不満が原因の転出意向を減らす必要があります。

【施策目標（目指す姿）】

町が持続可能な人口及び人口構成を確保している。
様々な社会環境に対応し、安定的な財政状況を維持している。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
生産年齢人口（人） <small>（令和4年10月1日時点）</small>	29,189 <small>（平成27年）</small>	28,710	28,615	28,454	28,388

最終アウトカム
＝施策目標

具体的な取り組み ～事務事業～

① マーケティング推進事業

【事務事業目標】

町民の町施策に対する満足度が向上している。

【目標指標（単位）】

町民に対する住民の満足度（％）

基準年	R3	R4	R5	R6
27.5(H29)	36.7	-	-	45.9

【取組概要】

町民のニーズや本質を捉えるため、マーケティングを実施、施策に反映します。

② ふるさと納税推進事業

【事務事業目標】

寄附を募るための魅力的な返礼品メニューが充実している。

【目標指標（単位）】

ふるさと納税の返礼品メニュー数（個）

基準年	R3	R4	R5	R6
98(R2)	100	105	110	115

【取組概要】

町の特産品等をふるさと納税の返礼品として取り扱い、ふるさと納税サイトを通じ全国から寄附を募ります。

③ 広報プロモーション活動事業

【事務事業目標】

町内外の人が寒川町に対して暮らしの場としていいイメージを持っている。

【目標指標（単位）】

町に対して良いイメージを持って転入した人の割合（％）

基準年	R3	R4	R5	R6
59(R元)	61	75	77	79

【取組概要】

町外住民に向けた移住プロモーション活動を展開します。町内へのプロモーションにより、町に対する誇りと愛着の醸成を図ります。

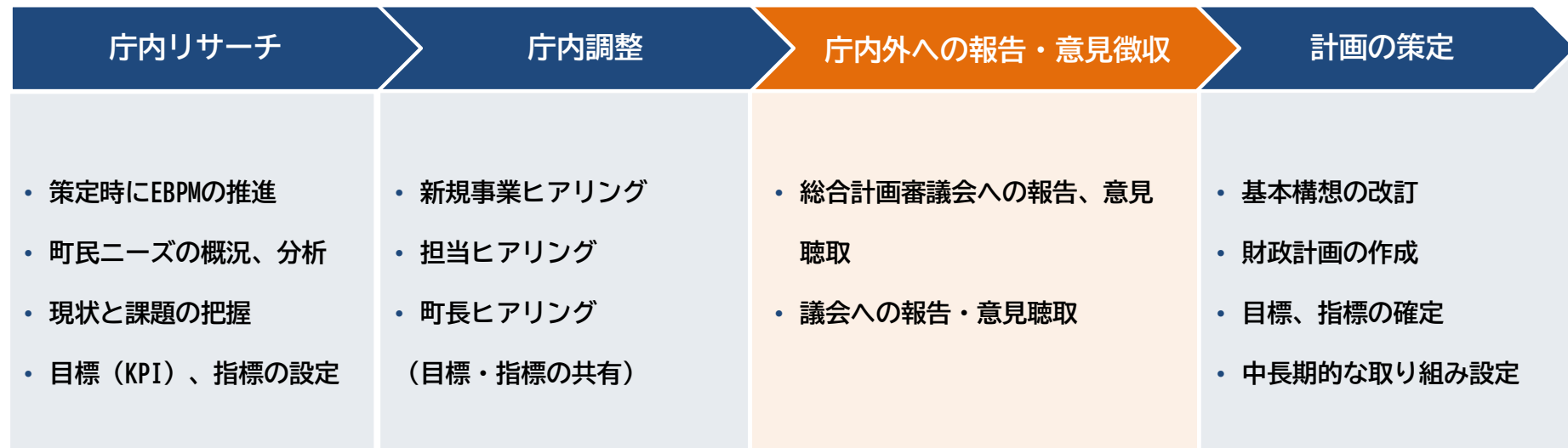
中間・短期アウトカム
＝事務事業目標

34

samukawa

09_総合計画2040第2次実施計画の策定経過

09_総合計画2040第2次実施計画の策定経過



10_今後のスケジュール

10_今後のスケジュール

	3～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画の策定方針	● 3月中旬						
施策・事務事業の調査	6～10月						
担当ヒアリング	● 7月下旬						
総合計画審議会	● 8/11						
パブリックコメント（基本構想）	9～10月						
町長ヒアリング	9月下旬						
財政計画の作成		10月～翌2月					
総合計画審議会			● 11/11				
町長へ答申（基本構想）			● 11月中旬				
議案 提案・議決			11月～12月			2月中旬	
総合計画審議会						● 2月下旬	
議会報告						●	3月下旬
第2次実施計画確定							●